

みどりの①プラザ企画展 「子どもと公園と遊び場の変遷展」関連講座

子どもたちの身近な遊び場、公園。公園を子どもを育てる拠点として考えた場合の活用方法について、学識経験者、地域での活動者、行政、それぞれの立場の講師から紹介します。それぞれの話題提供のあとは、「公園を子育ての場として魅力的にするために」をテーマにパネルディスカッションをします。



10/7 (土)
10:00 - 12:00

まちで子どもを 育てる拠点としての公園

講師紹介

千葉大学大学院園芸学
研究科 教授
(都市計画・農村計画)

木下 勇
(Sammy)



若い時「三世代遊び場マップ」等の活動を仲間と始め、現在は子ども・住民参画のまちづくり、都市計画、持続可能な都市再開発地域マネジメント、環境マネジメントの関連で活動中。2017年開催、みどりの①プラザ「子どもと公園と遊び場の変遷展」監修。
1978年東京工業大学建築学科卒業 1979-80年スイス連邦工科大学留学 1984年東京工業大学大学院博士課程修了 工学博士。農村生活総合センター研究員、千葉大学園芸学部助手、助教授を経て2005年より現職。
ユニセフCFC「子どもにやさしいまち」国際諮問委員会委員

NPO 法人あそびっこ
ネットワーク 代表理事

中川 奈緒子



大学卒業後、大手化粧品会社で商品プロダクトマネージャーとして働き、出産を機に退職。転居した新潟県で、1年間の閉じこもり育児の経験が、地域に根ざした子育て支援の活動に携わるきっかけとなる。
2003年、小学生のわが子たちの遊び環境の乏しさ、生きる力の弱さに危機感を感じ、地域のボランティアを集めて光が丘公園で「プレーパーク」を立ち上げ、2011年にNPO法人化。現在は、「プレーパーク」の他、乳幼児の外遊び場「おひさまぴよぴよ」などの運営とともに、講座、研修会などお母さん、教育者向けの事業も手がけている。

東京都東部公園緑地事務所
工事課長

竹内 智子



大学で緑地学を専攻。造園専門職として東京都に入庁後は、主に都市計画部門で、景観法に基づく文化財庭園の周辺規制や、都・区市町村の公園緑地の方針策定などを担当。業務のかたわら東京の緑地計画の研究で博士号を取得。行政プランナーの立場で公園緑地の研究と実践を行っている。
2016年度は公益財団法人東京都公園協会で公園管理を担当し、銀座のカフェで未就学児と保護者に公園を活用してもらうための「子育てトークサロン」を開催。2017年4月から現職。

受講料：一般¥1,550、大学生¥1,030、中高生¥520

※本講座は造園 CPD 制度認定講座です。
受講頂くと2単位の付与があります。

会場：日比谷公園内
緑と水の市民カレッジ2F

定員：30名

お問合せ・お申込み

緑と水の市民カレッジ事務局

TEL：03-5532-1306

FAX：03-5532-1307

緑と水の市民カレッジ

検索

<http://www.tokyo-park.or.jp/college/index.html>